



え、とすすめてくれました。それはさておき、家から少しでも出るといふことはいいことです。特に歩いてみると四季の移ろいを五感で感じることが出来る。木々の芽吹きや春の訪れ、秋の気配が敏感にわかり新しい発見があること請け合いです。そこで「きょういくのすすめ」となるわけです。今日どこかに行く予定がある。それだけで心の張りも人生にメリハリがつき若返ることでしょう。どこかに行くためにはいつもよりいい服を着て、ひげをそり何度も鏡をみて出かける。奥様も大喜びとなるわけです。また、旅行のパンフレットを見るだけでも、どんな所かどのような催し物があるか想像するだけでわくわくして心うきうき。どうか町内のみなさん、「今日いくところがある」近日中に行く用事がある、ことを見つけ家から出ましょう!!

アンケートを終えて 末田会長に聞く

高齢者の意識をさぐるため、民生委員の協力をいただきアンケートを実施しました。その結果は別表の通りですが、これについて末田会長にインタビューしました。

アンケートの結果を見ての印象は？

好意的なものが多くて驚きました。もう少し苦言が聞けたら良かった。

もうひとつは町内会活動の基本認識についてですが、町づくりの基本は、まず単位町内会の活動があつて、それを連合町内会が補佐してゆくのが基本だと考えています。しかし、アンケートを見るとその認識にずれがあるように感じました。私たち役員は PR 不足があるのかも分かりません。

薬師が丘の町内会活動は活動で、そのことを好意的に受け止められている人が多かったことには素直に感謝しています。住民の足についての心配されている人が多かったですね。

そうですね。バス便についての不安が多かったのですが、今のままでは広電に交渉に行けない状態です。もう少しバスに乗って頂かないといけません。いまの乗車人数では交渉に乗ってもしよう。買い物が不便だと言った人も多かったですね。いま町内には 2 軒の店しかありません。それに生協の移動販売車と月一回の鮮魚販売です。町内の店には頑張ってもらって頂くように私たちが出来るだけ多く利用することで応援したいと思います。生協の移動販売車は採算が

取れているようですからこのまま活動して頂くとして、問題は鮮魚販売ですね。魚を食べるといっても限度がありますから無理は言えません。そのため買う買わないは別に、当日で出来るだけ多くの人に会場に来て頂くことを真剣に考えないと

いけないと思います。たとえば野菜を販売するとか、不用品の販売をするとか、こうしたことを町内の人に協力してもらいながらすすめてゆきたいですね。

そうですね。しかし、いまのところ困っていないと言っただけで、予備軍は多いようです。数年先には一変するはずですが、今のうちから対策を考えないといいけません。薬師が丘は住みやすいと答えられた人が多かったですね。

アンケートの結果 (回答者 72 名)

